

平和は負けない

沖縄県立八重山高等学校二年 平田 育

この眩しい空は 覚えている
月桃の香りこぼれる 赤瓦
機織と三味線の心地良い音色に 童が笑い
太陽の恵みを唄う
戦の前の 穏やかな島を

降りそうな星たちも 知っている
大切な人に 想いを届けることも
愛する方々の ささやかな願いも叶わず
帰らない あの子
戻れない あの方
たった一匹の蚊にさえ抵抗できず
弱く もろく 選別された命を

美ら海が 教えてくれた
助けてあげられなかった
押し寄せる軍艦から 島を
救うことができなかった
心亡くした戦から 民を

残酷な戦争の奪った尊い全てに
もし 生きていたら
まだ ここにいたらと
涙が枯れることのない家族は
今日も香を焚く

しなやかにたわむ ウージ畑がささやく
あの子は 大空で 自由に過ごしています
その方は 風になって お側にいますよと

お墓に並ぶ甕の中は
小さな石が一つだけ
悲しみへ捧げられた怒りが
幾重もの眠らぬ声となる

信じていた 教育
覆われていた 真実
負けるな平和

時代が違えば
震えた指でなぞる刻名は
僕らだったかも知れない
あふれる不発弾に
埋もれていく戦跡
でも

確かにこの場所で生きていた
あなた方がいたから 僕たちがいる

戦没者24万人と共に紡ぐ
掛け違えてはいけない 教訓

語り継ぐ 織りなす使命は
負けるな平和

島を包む 重い歴史が問う
この道に 未来はあるのか
どの流れが 必要で誠実なのか
負けるな平和

75年前のにおいは まだ残る
手繰り寄せる戦後に
心地良い音色は遠く 見えない穏やかな色
拾いきれない 遺骨収集
止められない 基地問題
でも

いつか
未来を信じてもらえる日が来るよう
覆われることのない 真実への道を
僕たちは築く
どうか

次の世代も幸せであるよう
誠実への必要な流れを
私たちは造る

沖縄に生まれた者として 綴る記憶と
沖縄で生きていく者だから 担う責務
何者にも 葬り去られぬよう
どこまでも 刻み続けるよう
怯まずに 貫くと 僕たちは誓う

大地が揺さぶる 平和に敬意を
自然は興る 平和よつながら
万物も吠える 平和を守れ
魂に叫ぶ 平和と約束

褪せることのない 平和に染めあげた
希望を紡ぎながら
明日も 誰かに
生かされている喜びを 伝えよう
これからも 多くの国と
友好や平等を 分かち合おう

そして 全人類が結ぶべき道標とするもの
平和は宝
平和は命
平和は偉大
平和は負けない
世界の平和